

津生協病院だより

2012年1月発行
第28号（冬号）

みえ医療福祉生活協同組合 津生協病院

三重県津市船頭町津興1721番地

TEL 059-225-2848 (代) / FAX 059-225-2922

<http://www.tsucoop.jp>



水彩画：伊藤 和男

津生協病院 医療・福祉宣言

【基本理念】

私たちは、患者さまの権利を尊重し、地域から信頼される医療機関をめざします。

【基本方針】

1. 私たちは、安全・安心で患者さまの納得のいく医療を進めます。その実現のために技術の向上と環境の整備を進めます。
2. 私たちは、差別のない医療・福祉の実現をめざし、社会保障制度充実の運動を進めます。
3. 私たちは、命が大切にされる戦争のない平和な社会を実現する運動を進めます。
4. 私たちは、地域住民や組合員の皆さまとともに、安心して住み続けられる街づくりを進めます。

第10回地域医療連携学習会を開催しました…

11月17日（木）、地域医療連携学習会を開催しました。

①症例報告

『早期上部消化器腫瘍に対する内視鏡的治療術の当院での経験について』

津生協病院 内科医長 小西 一豊

②特別講演

『地域で求められる【家庭医療】とは』

— 人々の視点と医療の視点の融合 —

三重大学大学院医学系研究科家庭医療学・医学部附属病院総合診療科
教授 竹村 洋典 先生

特別講演では、三重大学で家庭医療学について研究をしてみえる竹村 洋典 先生のご講演をいただきました。

当院の地域医療連携学習会では竹村先生講師による学習会は今回で5回目を数え、過去4回の学習会では、プライマリ・ケアの分野で「見逃してはいけない〇〇」のテーマで、症状別の診断ポイントについてご講演をいただけてきました。

今回は、竹村先生が研究テーマとしてみえる「家庭医療学」から『地域で求められる【家庭医療】とは』という視点で、日本の医療においてこれから益々ニーズが高まろうとしている「家庭医療」のありかたについてご講演をいただきました。



参加者は、計45名で、参加いただいた近隣の医療機関の先生方や当院の医師だけでなく、他の医療スタッフにも分かりやすい内容で、大変好評でした。

なお、今秋、当みえ医療福祉生活協同組合の高茶屋診療所では、竹村先生の総合診療科より新たに みやざき けい 宮崎 景 医師を迎え、「家庭医療」の実践がすすめられています。

「三重大学家庭医療プログラム」で、みえ医療福祉生協・高茶屋診療所が紹介されました。



症例報告では、当院で実施している内視鏡的手術の紹介と、早期胃がんに対するESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）の経験について小西医師より報告致しました。

みえ医療福祉生活協同組合 高茶屋診療所副所長に・・・

みやざき けい

「家庭医専門医」 宮崎 景 医師 着任！

宮崎 景 医師を、質問形式でご紹介します。

問 医師になろうとしたきっかけは？

答 幼少時、夏休みに帰省したときに、田舎の町医者であった祖父の往診についていったことがありました。うれしそうに祖父をむかえる患者さんとその御家族の姿をみて、自分の祖父を誇らしく思いました。その思い出が、自分の医師としての原点となりました。

問 なぜ家庭医をめざしたのですか？

答 地域の健康を守っていた祖父をみて医師をこころざしました。私が医学部を卒業した当時の日本では、「町医者」が専門医としてみなされておらず、数年間は循環器内科医として働きました。やがて「家庭医」という仕事が海外では専門医として認知されていることを知り、自分の医師としての原点にかえりたいという思いが強くなりました。「家庭医」の教育制度がすすんでいるアメリカに渡り、家庭医専門医としてのトレーニングを積んでこのたび帰国しました。最近、日本でも「家庭医専門医」の制度が始まりました。今後は高茶屋の地域で皆様と向き合う「いち家庭医」として働くとともに、「家庭医専門医」をめざす後進の指導をライフワークとしていこうと考えています。

問 組合員さん、患者さんにひとこと・・・

答 家庭医というのは一言で言えば「よろず相談医」です。大人から子どもまで、どんな相談でも「専門じゃないから」とお断りすることはありません。内科系の問題だけでなく、切り傷、膝の痛み、耳鳴り、湿疹、心の病など広く対応するトレーニングを受けています。また専門医に紹介することが相応しい場合でも、適切な専門医を選択し、紹介状を用意して、その後の経過まで責任を持ってフォローアップさせていただきます。「こんなことを聞いて良いのかな？」ということでも気軽に相談してください。



第6回健康づくりフェスタのご報告

12月4日（日）、津市まんなか交流館にて第6回健康づくりフェスタが開催されました。

今回は屋内での開催ということもあり、橋元慶男先生（岐阜聖徳学園大学教育学部教授、日本笑い学会理事・みえユーモア支部長）による「笑い与健康」の講演や支部バザーなど、多くの方々がじっくりと楽しまれた様子でした。



恒例の健康チェックコーナーは「自分では分からない体のことに気づくきっかけになる」「毎年参加して健康の目安にしている」と今年も大人気でした。特に骨密度や血管年齢測定、バランス能力測定には長い行列ができました。地域の組合員のみなさんと職員がともにイベントを作りあげたこの機会を、今後も大切にしていきたいと思えます。